

もうひとつの両親学級～2人で子育て、みんなで子育て～

特特定非営利活動法人 a little

(関係課：男女共同参画推進課・地域保健課・子育て総合センター)

事業費 289,448 円

助成額 192,000 円

●当初の課題・事業目的

現代に至ってもジェンダー規範に縛られた子育てにより、互いの役割に縛られ、しんどさを抱えています。そのうえ核家族化などの社会背景や転勤族が多いという西宮の特色も重なり、孤独や困難を抱える家庭が多くいます。また、西宮市の行うマタニティ向けの講習などは平日に開催されており、仕事を持っている方には参加調整が難しいこともあります。さらに、日曜開催の両親学級はコロナ禍で中止中です。出産を控えた夫婦が共に学ぶことで、新しい家族の形をジェンダーに捕らわれることなく、共に子育てをスタートさせることが出来ます。同時に、地域に支援があることを知り、二人だけで乗り越えようとせず SOS を出して良いことを知ることで、児童虐待、DV、産後鬱を防止するためのものです。



理事長 さかぐち ゆうこ

●事業概要

2020年11月21日(土)10時～ 参加者8組(15名) 開催場所：男女共同参画センター ウェーブ

当初は会場内に準備した以下の7つのブースを2時間半かけて回ってもらう予定でしたが、コロナ対応で1時間半と時短を図り、3、4はオンラインにて対応し、6は実施しませんでした。去年と比べ時間配分に余裕がなく、忙しく回ってもらうことになりましたが、制限されることで工夫が生まれ、時間も経費も縮小できました。

1. バースプラン 産前産後の生活設計を立てます
2. マタニティフォト 生活設計を元に誓いの記念撮影をします
3. マタニティヨガ 夫婦でコミュニケーションを取りながら身体のほぐし方を学びます
4. 料理講座 男性→産前産後に合った食事を学びます 女性→交流タイム
5. 相談ブース 助産師・保健師・子育てコンシェルジュ・男女共同参画センター職員・a little スタッフが対応し、情報提供します
6. 子育て広場 移動児童館もしくは社協広場の出前広場
7. 展示 産前産後のお役立ち情報



●事業の成果・工夫した点

バースプランを二人で作成することで、課題を共有し、具体的な相談につなげられるようにしました。支援者と直接顔を合わせることで地域に多くの味方がいるという安心感を持ちお産に向かえるようにしました。アンケートの結果は平均90点を超え、不安が軽減したとすべての人が回答しました。その後サポートが必要な人は市のヘルパーも利用しています。各支援機関の違いも分かったと回答がありました。男女共同参画センターブースには多くの男性が座り、その後育児休暇を取得したと報告もありました。

●苦労した点・今後の課題

地域とのつながりのない妊婦へ情報を伝えるのは難しい上にコロナの影響で市の両親学級なども休止中で前回より広報ツールが減りました。その分今回は産院へのチラシ設置依頼をしたところ数件協力いただけ、申し込みの多くが産院でチラシを見た方でした。今回協力してくれた産院以外にも出産後に地域で暮らす家族支援への必要性を伝え、協力してくれる産院を増やしていくことが課題です。また感染対策の観点から大人数のイベントではなく各地域で小さく開催することの必要性が見えてきました。

●参加者のコメント

☆バースプランという形で、産後のことを考える時間を a little を通じて作ってもらいました。お誘いをもらったときは、いまいちどんなことを考えるのか、何が不安なのか、漠然としており必要性もいまひとつピンと来ていなかったのが実のところ。バースプランを立てるうちに、色々自分の中で解決できたり、夫ともバースプランをもとに話が出来ました。出産してから考えよう、としか言ってくれない夫にも、漠然とした不安ではなく、前もって具体的に話ができたことは本当に良かったです。ありがとうございました！

☆多くの母親、父親学級などが中止になる中、出産・育児に関する情報が得られる貴重な機会だった。